

◎ 県政への反映状況（平成24年度開催 知事と一緒に生き生きトーク）

金額は平成25年度当初予算額

第1回：テーマ「教育県岡山の復活」（H25. 2. 4）

○大学生が学校に入って、放課後の学習支援に当たることは有効である。

→ 平成25年度から公立小学校約180校に、大学生や退職教員などの地域人材を支援員として配置し、教員による放課後学習をサポートすることで、児童の基礎学力の定着を図っています。

「放課後学習サポート事業」29,430千円

○小学校1年生からの生徒指導上の記録、カルテみたいなものがあれば良い。

→ 中学校と高等学校間の情報連携については、すでに具体的取組を推進しているところですが、一貫性をもった児童生徒に関する情報共有や指導・支援の在り方についても今後研究してまいりたいと考えています。

○小中連携により、小学校6年から中学校生活への準備をし、慣れてもらう。

→ すでに中学校の入学説明会等の際に、体験入学等を実施している学校が多く、特別支援教育の観点で事前に施設見学等を実施している学校もあります。このような取組が県下に広がっていくよう、今後も市町村教委や学校に働きかけてまいります。

○問題行動のある生徒を集めて一つの教室を作り、つまずいたところまで戻ってやり直すというアイデアはすばらしいし、問題行動が始まった早い段階で必要だ。

→ 児童生徒の問題行動の要因や背景等は複雑であり、学習面のつまずきも要因の一つになっている場合があります。このような児童生徒が、自分自身を見つめながらつまずきを解消できるよう、別室等における個に応じた効果的な指導の在り方について、今後研究を進めてまいりたいと考えています。

第2回：テーマ「産業を振興して 岡山を元気に！」(H25.2.5)

○県内にある企業のまとまった情報（業種、技術力、製品など）があったら良い。

→ 公益財団法人岡山県産業振興財団HP「おかやま企業情報ナビ」に、県内971社の事業概要や製品情報を掲載しており、引き続き、広報周知に努めます。

○県内でサプライチェーンが確立すれば良い。単なるアウトソーシングではなく、信頼しあえる企業連携をサポートしてほしい。

→ 岡山・産学官連携推進会議等を通じ相互の連携を深め共同研究等に取り組んできました。分野別産業クラスター般は共同受注グループや地域連携組織が生まれていますが、引き続き企業のマッチングや商談の支援を行います。

「産学官連携推進会議運営事業」1,129千円

○中小企業が持つ技術力などの価値を評価し、生かす支援があれば良い。

→ 公益財団法人岡山県産業振興財団等産業支援団体を通じ、中小企業技術力の評価、底上げを図り、新製品開発や新分野進出等を支援します。

○中心市街地から離れると車なしには生活できない。公共交通の利便性を向上させてほしい。住みやすさの向上も必要である。従業員のためのまとまった生活情報があれば良い。

→ 現在の企業立地推進課のホームページを全面的に見直し、民有地情報や産業団地周辺の生活関連施設等の情報も盛り込むなど、候補地を探されている企業や既立地企業にとっても利用しやすく分かり易いものとなるよう、ホームページを刷新することとしています。

「やっぱり岡山！企業誘致ホームページ事業」4,413千円

○企業同士の交流がもっとあっても良い。

→ 岡山・産学官連携推進会議や分野別産業クラスターでの共同研究・共同開発の促進などを通じて、企業間の交流を促進します。